

[専門教育科目/看護の展開/母性看護学]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護学概論	NSP21_002	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小野寺 幸子	410	s.onodera	メールにて随時		
授業の目的・概要	わが国においては少子化が大きな社会問題となっている。そのため本科目では、母性の一生を通じた健康の維持増進、疾病を予防し次世代の健全育成について理解することを目的とする。まず母性とは何かについて幅広く考え、母性看護の基盤となる重要な概念について説明する。そして次世代の健全育成について多角的に考える為、妊産褥婦や子どものみならず、パートナーとしての男性や家族・地域の役割や母性看護に関する社会的動向・統計・法律などについて理解する。毎回の課題学習の内容をよく理解した上で講義の総括時に全体を振り返り理解を深める。				
学習上の助言	1 年次に学習した「人間の生殖の発達」と関連付けながら母性看護の対象の身体的・精神的・社会的特性の理解を深めてほしい。現代女性の特性や生き方、さらに男性や家族・地域社会の特徴やあり方など社会の動向にも注目し視野を広げていくことが望まれる。レポートの作成は事前学習時間を有効に活用する。				
教科書	系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学①/著：森 恵美 他/ 出版社：医学書院/2019				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	母性看護の基盤となる概念について理解し、説明できる。		NS(1)(2)		
②	母性看護に関する社会的動向について理解し、母性看護のあり方について説明できる。		NS(1)(4)(5)		
③	母性看護に関連する法律・施策について理解し、説明できる。		NS(2)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	母性をめぐる様々な定義を学ぶ 質問への対応：毎回のメールで対応 フィードバック：総括時に実施	課題送付による遠隔授業	課題レポート：親になることの意味 課題レポート：母性とは何か	4	
2	母子関係と家族発達について学ぶ 質問への対応：毎回のメールで対応 フィードバック：総括時に実施	課題送付による遠隔授業	課題レポート：愛着・母子相互作用が母子関係形成へ及ぼす影響についてに及ぼす影響について	3	
3	セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス/ライツ、ヘルスプロモーションの概念を学ぶ 質問への対応：毎回のメールで対応 フィードバック：総括時に実施	課題送付による遠隔授業	課題レポート：性の健康を守ることにについて	4	
4	母性看護のあり方について学ぶ 質問への対応：毎回のメールで対応 フィードバック：総括時に実施	課題送付による遠隔授業	課題レポート：母性看護の特徴について	3	
5	わが国の母性看護の変遷と現状について学ぶ 質問への対応：毎回のメールで対応 フィードバック：総括時に実施	課題送付による遠隔授業	課題レポート：母性看護の歴史について	4	
6	母性看護に関する社会的動向について学ぶ 質問への対応：毎回のメールで対応 フィードバック：総括時に実施	課題送付による遠隔授業	課題レポート：母性看護の動向や現状について	4	
7	母性看護の現状について法律や施策から学ぶ 質問への対応：毎回のメールで対応 フィードバック：総括時に実施	課題送付による遠隔授業	課題レポート：母性看護に関する法律から妊産褥や乳幼児への主な支援について	4	
8	第1回～第7回の課題学習のポイントを総括する	同時双方向型授業	各自、まとめたレポートを教科書で振り返り参加する。	4	
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

[専門教育科目/看護の展開/母性看護学]

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		30	70	0	0	0	100
総合 能力 指標	知識・技術力	20	60	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				試験終了後に模範解答を配布する。	
試験	①	✓	試験は課題レポートや教科書の範囲から出題する。各自、自宅で試験問題に取り組み、提出期間内にメールにて提出する。(提出期限遅れは無効となる)				
	②	✓					
	③	✓					
レポート	①	✓	指定文献を良く読み、課題にそって分かりやすくまとめられているか、基本的なレポートの書き方に添いまとめられているか、という視点より評価する。レポート提出遅れは減点対象となる。				
	②	✓					
	③	✓					
成果発表	①	✓					
	②	✓					
	③	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
その他	①						
	②						
	③						
備 考							
担当教員：小野寺 幸子							
<b>教員の実務経験</b> ：助産師として7年の実務経験の後、看護基礎教育に携わる。 <b>実践的授業の内容</b> ：臨地実習における学びを重視し、具体的な事例を教材にした授業を展開。							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回目の授業は teams を使った授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。</li> <li>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会状況によって再度シラバスの変更があり得る可能性があります。</li> </ul>							